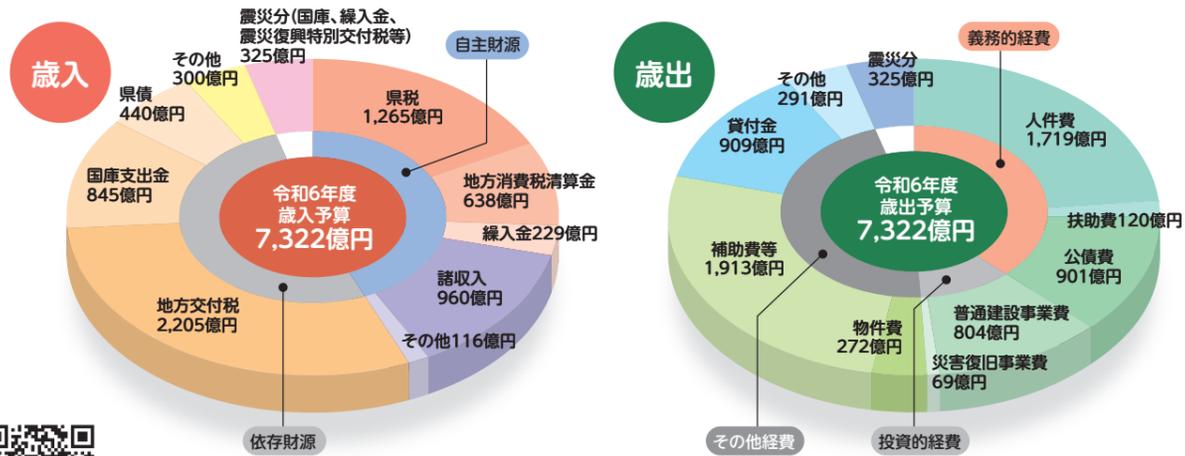


[特集1] 令和6年度当初予算・「希望郷いわて」その先へ予算



ホームページでも詳しい資料を公表しています。

岩手県 当初予算

◎歳入歳出予算の内訳

令和6年度は、「いわて県民計画(2019〜2028)」第2期アクションプランのもと、4つの重点事項を中心に、人口減少対策に最優先で取り組み、県民の幸福度向上を図る10の政策や「新しい時代を切り拓くプロジェクト」を着実に推進します。さらに「希望郷いわて」のその先へ歩みを進めるため、新機軸の施策に取り組みます。

『希望郷いわて』  
その先へ予算

特集1  
令和6年度  
当初予算



いわてを支える仲間たち  
三陸鉄道株式会社の皆さん

今年4月に40周年を迎えた三陸鉄道。1984年の開業以来、地域住民の通勤・通学の足として、また、三陸沿岸を訪れる観光客を乗せて走り続けてきました。東日本大震災津波では大きな被害を受けましたが、復旧に向けて奮闘する三陸鉄道のみなさんの姿は、地域を勇気づけてくれました。地元へ愛されて40年。これからも、感謝を伝えて走り続けます。

より詳しいお話を  
サイトで公開中

いわてグラフ  
専用サイト



予算のポイント

人口減少対策を最優先に  
4つの重点事項を  
さらに強化  
840億円

93億円

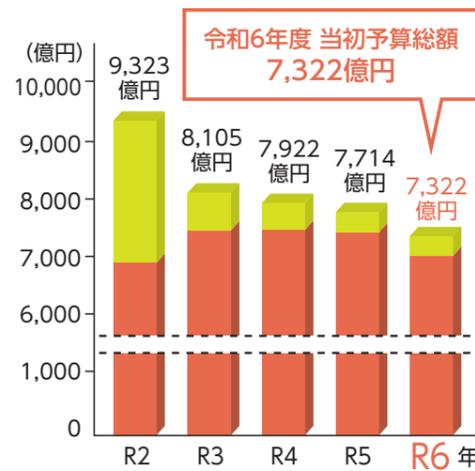
GXの推進



岩手の優れた自然環境を生かし、  
◎カーボンニュートラル  
◎地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長  
◎地球温暖化への適応などを推進

※GX:グリーントランスフォーメーション。化石燃料中心の経済や社会、産業構造をクリーンエネルギー中心にしていくこと。

※複数事項にまたがる事業については、重複して事業費を計上。



震災分 325億円  
通常分 6,998億円(うちコロナ対応分499億円)

令和6年度当初予算の総額は7,322億円。「震災分(復旧・復興のための予算)」は年々減り、そのほかの「通常分」はほぼ横ばいが続いています。新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、「コロナ対応分」が減りました。

◎予算の規模

特集1

令和6年度当初予算  
『希望郷いわて』  
その先へ予算

いわて県民計画PICK UP!  
テーマは「参画」/女性活躍企業の紹介  
復興、その先へ [沿岸北エリア]

特集2

6月29日は「平泉世界遺産の日」です  
もっと知ろう!  
ひらいずみ遺産  
いわて黄金のマリアージュ  
県産夏野菜×サヴァ缶  
このまちが好き [沿岸エリア]  
岩手県からのお知らせ

ナシテ? イワテ、ダガラ! イワテ  
読者アンケート&プレゼント

裏表紙

CONTENTS

4つの重点事項  
に係る予算は、令和5年度より  
75億円増額しました。  
※コロナ対応分除く



476億円

安全・安心な  
地域づくり



東日本大震災津波やコロナ対策の  
経験を踏まえ、  
◎今後起こり得る最大クラスの地震・  
津波や大規模災害への対応  
◎新興感染症などへの対応  
◎安全・安心な地域社会の構築  
などを推進

※DX:デジタルトランスフォーメーション。ICT(情報通信技術)の浸透により、生活をよりよい方向に変化させること。

221億円

自然減・社会減対策



コロナ禍での地方への意識の高まり、  
多様な働き方の拡大を背景に、  
◎性別にかかわらず誰もが活躍できる環境の整備  
◎ライフステージに応じた支援  
◎移住・定住の促進などを推進

「希望郷いわて」  
その先へ

51億円

DXの推進



岩手県DX推進計画に基づき、  
◎行政、産業、社会・暮らしのDX、DX  
を支える基盤整備  
◎DXによる地域課題の解決  
などを推進

## GXの推進

地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な新しい成長を促進し、誰もが住みたいと思えるふるさとを次世代に引き継いでいきます。



### 省エネルギー対策の推進

ZEH+水準を満たす住宅等の普及促進、事業者の省エネ設備導入の促進 など

### 再生可能エネルギーの導入促進

海洋エネルギーの研究開発の支援、バイオマス資源の活用促進 など

### 森林吸収・気候変動への適応など

収益性の高い果樹生産の研究促進、森林の強度間伐支援 など

### 環境にやさしい農業を「いわてグリーン農業アカデミー」

スマート農業技術を活用した有機農業や環境保全型農業を実践する上で必要な知識、技術を学べる「いわてグリーン農業アカデミー」を開講しました。講義や演習を通して、環境負荷を低減する農業者の育成に取り組みます。  
※令和6年度の研修生募集は終了しています。



こんな取り組みをしています

※写真は事例研修のイメージです。

## DXの推進

全ての県民がDXの恩恵を享受できるよう、あらゆる分野のDXを促進し、県民生活の利便性の向上や情報通信インフラの整備、市町村への支援を進めます。



### 行政のDX

行政手続きのオンライン化、データの利活用やオープンデータ化の推進 など

### 産業のDX

デジタル人材の育成、建設企業におけるICT機器の導入補助 など

### 社会・暮らしのDX

遠隔教育による学びの機会の充実、デジタル技術を活用した避難所運営の実証実験 など

### DXを支える基盤整備

携帯電話のエリア整備の促進、DX・GXに関する研究開発の支援 など

### デジタル人材の育成やキャリアアップに「デジタルリスティングセミナー」

DXに関心がある経営者や社員などの社会人を対象に、生産性の向上や業務の効率化、働き方改革等に役立つデジタルスキルを学ぶセミナーを開催します。実践的な学習カリキュラムで、デジタル人材の育成、労働者のキャリアアップを実現します。



こんな取り組みをしています

## 安全・安心な地域づくり



東日本大震災津波や新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、災害や新興感染症など、様々なリスクに対応できる安全・安心な地域づくりを促進します。

### 今後起こり得る最大クラスの地震・津波や大規模災害への対応

防災人材を活用した自主防災組織の強化、「事前復興まちづくり」の促進 など

### 安全・安心を支える災害に強い社会資本整備等

野生鳥獣による農作物被害対策の支援、緊急輸送道路の整備 など

### 新興感染症などへの対応

新興感染症の発生に備えた連携体制強化、家畜伝染病の防疫措置のための備蓄資機材の拡充 など

### 事故や犯罪が少なく、安全・安心に暮らせるまちづくり

防犯活動の普及啓発、性犯罪・性暴力被害者への総合的な支援 など

### ツキノワグマなどによる被害防止対策を強化

令和5年度は市街地や集落など人の生活圏へのクマの出没が相次ぎ、人身被害が過去最多を記録するなど、大きな被害が発生しました。今年度は、クマの個体数を推定するための調査を行うほか、市街地での出没訓練やクマ捕獲技術向上研修などを行い、県民の被害防止や安全確保に取り組みます。



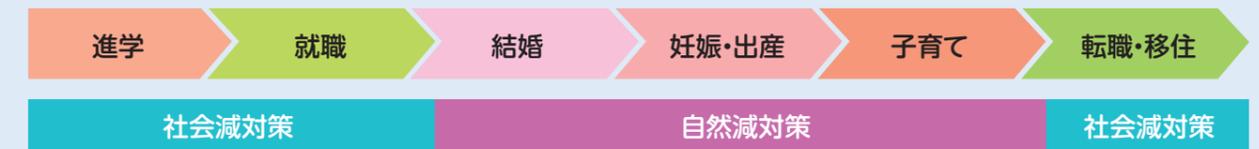
こんな取り組みをしています

## 自然減・社会減対策



性別にかかわらず誰もが活躍できる環境づくりを進めながら、結婚・子育てなどライフステージに応じた支援や移住・定住施策を強化します。

ライフステージ例



### 少子化対策の強化の3つの柱 +1



#### ①有配偶率の向上(結婚支援)

結婚サポートセンター「i-サポ」によるマッチング支援、若者を対象にしたライフデザインの形成支援 など

#### ②有配偶出生率の向上(妊娠・出産・子育て支援)

産後ケア事業等の利用促進、既存の施設等を活用した子どもの遊び場整備 など

#### ③女性の社会減対策

若者や女性に魅力ある雇用・労働環境の整備に向けた支援、家事育児シェア普及推進 など

### 社会減対策の強化の3つの柱 +1



#### ①いわてとのつながりの維持・強化(県内定着、U・Iターン)

お試し就業・居住体験による県内への移住・就業促進 など

#### ②多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上

バス運転士の確保や職場環境整備に対する支援、海や漁村の地域資源を活用した海業のビジネスモデル構築支援 など

#### ③ニューヨーク・タイムズへの掲載を契機とした交流人口・関係人口の拡大

県産品等のWEB百貨店を通じた交流人口・岩手ファンの拡大推進、いわて花巻空港を起点とする県内周遊プロモーション など

### 少子化・社会減対策のプラスワン

市町村や地域的な少子化対策、社会減対策に関する取り組みの支援・強化

こんな取り組みをしています



「いきいき岩手」結婚サポートセンター **i-サポ**

結婚したカップル **147組!**  
※2024年4月末現在

“結婚したい”と願う人の希望を叶えるため、県、市町村、民間団体等が連携して運営している「i-サポ」。会員(登録制)の皆さまに1対1の出会いの機会を提供し、結婚相手探しをサポートします。センターは盛岡市、宮古市、奥州市の3か所にあり、「おでかけi-サポ」として、久慈、釜石、二戸、一関に出張もしています。

今年度は、さらにマッチングシステムにおける性格診断、趣味検索、オンライン登録、自宅閲覧システムなどの新たな機能の追加等、マッチング精度や利便性の向上に取り組みます。